



赤 い い ろ い ろ

春分の日に食べるぼた餅には、小豆の赤い色が邪気を払うという謂れがあります。先祖への供養でもありますが、人々にとっては春を迎える何よりのお楽しみだったことでしょう。

この度のお茶席で私をご用意するのは、ぼた餅ならぬ「赤いいろいろ」です。この季節の変わり目の1日に、皆様に少し変わった体験を楽しんでいただければと思っております。(席主)

日時 2018年3月21日(水・祝)
13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00

会場 京都芸術センター 大広間(西館2階)

席主 国谷隆志(現代美術家)

内容 お水と角砂糖(お土産付き)

定員 各席20名(要事前申込/先着順)

参加費 1,000円

主催 京都芸術センター

お申込み [ウェブサイト](http://kac.or.jp) <http://kac.or.jp>

京都芸術センターウェブサイトからお申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。(同席希望の方がいらっしゃる場合は、その方のお名前をご記入ください。)

[お電話](tel:075-213-1000) 075-213-1000

10:00 ~ 22:00 で受け付けております。

「明倫茶会」は、様々な表現分野の発信基地として開館した京都芸術センターの特色を、色濃く伝える事業のひとつです。開館より17年、これまで140回以上のお茶会を催してまいりました。毎回、各界で活躍されている方々を席主にお迎えし、趣の異なる独自のしつらいでお客様をおもてなしています。

茶道家のみならず、美術作家、音楽家、伝統工芸作家、狂言師、ギャラリスト、ダンサー、劇作家、研究者、料理人…席主の方々の心よりのおもてなしの中で、京都の文化の多様さ、ものをつくり伝える人たちの力強さを感じることができるでしょう。



京都芸術センター

Takashi Kunitani

Something Red

明倫茶会「赤いろいろ」特別企画

国谷隆志「Something Red」

2018年3月22日(木)～30日(金)

10:00 - 20:00 ※最終日は17:00 まで

入場無料・会期中無休

京都芸術センター 大広間 (西館2階)

明倫茶会のしつらいを公開して国谷隆志の作品展示を行います。



Mirror Site (14497), 2012.

鏡面仕上げのステンレススティールに罫書き、アクリル絵の具、パネル
h 109 cm x w 133 cm x d 7.5 cm.



Spaceless Spaces (Deep Projection), 2015.

息、ガラス、ネオン、変圧器、コード
サイズ可変。



Porn Site #1, 2017.

ネオン管、ガラス、スチール、変圧器、コード
サイズ可変。

国谷隆志

1974年 京都府生まれ、1997年 成安造形大学立体造形クラス卒業。京都在住。主な展覧会に『Pink Objects』(Ulterior Gallery、ニューヨーク、2017年)、『Light: Fixtures and Sculptures』(LMAK gallery、ニューヨーク、2016年)、『Bai-in』(松花堂庭園・美術館、京都、2016年)、『Deep Projection』(兵庫県立美術館、2015年)、『Momentary Shape』(ART SPACE NIJI、京都、2014年)、『Pavilion 0』(Signum Foundation Palazzo Dona、ヴェニス、2013年)、Nuit Blanche Kyoto 2012 『two passages』(京都芸術センター、2012年) など。

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

〒604-8156

京都市中京区室町通蛸薬師下ル山伏山町546-2

TEL 075-213-1000 FAX 075-213-1004

URL <http://www.kac.or.jp>

地下鉄烏丸線「四条駅」、

阪急「烏丸駅」22番・24番出口より徒歩5分。

駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

